

市町村税徴収率、平成以降で最高を更新！

令和2年6月29日

これまでの県・市町村連携による徴収強化の取組と市町村の徴収努力により、令和元年度の市町村税徴収率は97.8%と、16年連続で前年度実績を上回り、平成以降で最高を更新しました。

市町村の自主財源の確保を図るため、令和2年度も引き続き市町村と連携し、以下の税収確保の取組を推進します。

○ 市町村税徴収率、前年に引き続き平成以降で最高を更新！

令和元年度市町村税決算状況 [速報]

市町村税収入額：1,572億5千万円

(対前年度比+1.2%、18億7千万円増)

徴収率：97.8% (対前年伸び率+0.2ポイント)

(16年連続徴収率アップ
最も低下していた平成15年度比で+6.5ポイント)

→ 平成15年度の徴収率のままと仮定した場合と比べて約104億円の増収効果

○ 県・市町村連携による税収確保の取組を推進します！

1. 「おおいた徴収カレッジ」開催 (主催：公益財団法人大分県自治人材育成センター)

28年度に開設した「おおいた徴収カレッジ」では、県と市町村の徴収職員が徴収のノウハウを学び、自治体間のネットワークを強化するという目的の下、県内・県外の先進団体等から講師を招き、職員の経験年数に応じて実践的な研修を行っています。

●初任者コース、リーダー養成コース (9月以降開催予定)、マネジメントコース (7/6、7)

2. 市町村職員の相互併任制度の拡大

28年度から実施している市町村間の職員の相互併任を拡大 (14市町→15市町) し、搜索等の滞納処分や、困難事案の検討等を連携して行います。

さらに、県職員を派遣し支援を行うことで、職員のスキルアップ徴収技術の円滑な承継を図り、徴収率の向上を目指します。

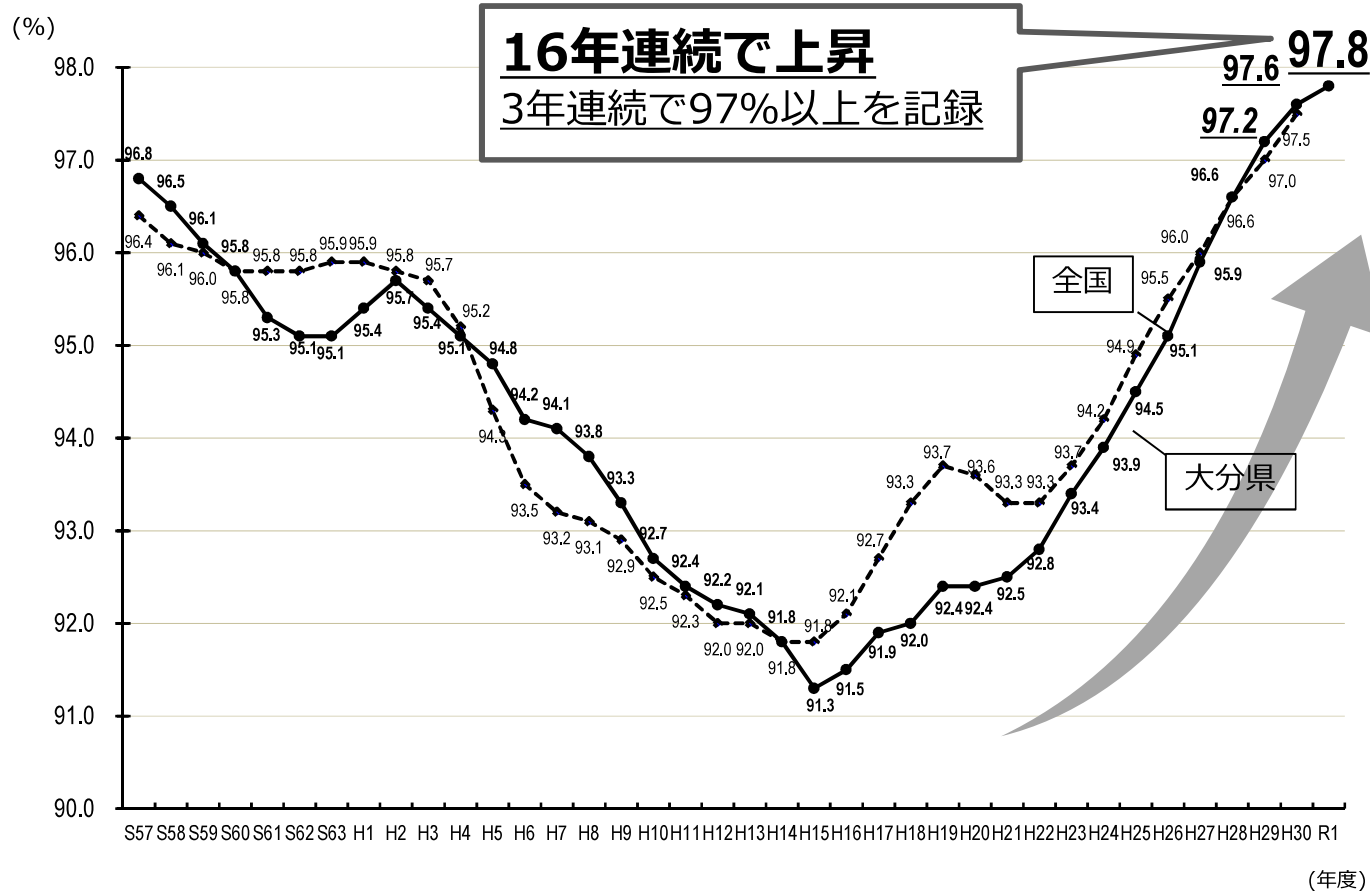
・相互併任制度を活用している市町 (15市町)
別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、豊後大野市、由布市、国東市、日出町、九重町、玖珠町

3. 県・市町村共同による固定資産税 (償却資産) 調査の推進

30年度から市町村が行う固定資産税 (償却資産) の調査に県から職員を派遣し、県・市町村共同で事業所への実地調査等を行っています。今年度は以下の3市において調査を実施し、適正課税に向けた取組をさらに推進します。

・令和2年度共同調査 (県職員併任派遣) 実施団体
新規：杵築市、宇佐市 継続 (昨年度実施)：臼杵市

◆市町村税徴収率の推移について（全税目計、現年分・滞納繰越分合計）



◆市町村別の徴収率について

・市町村税徴収率（全税目計、現年分・滞納繰越分合計）

区分 市町村名	市町村税徴収率		
	令和元年度	平成30年度	伸び率 (30→1)
大分市	99.3	99.3	0.0
別府市	96.1	95.6	0.5
中津市	96.8	96.8	0.0
日田市	97.1	96.6	0.5
佐伯市	95.7	95.5	0.2
臼杵市	94.7	93.8	0.9
津久見市	96.0	95.6	0.4
竹田市	96.0	95.2	0.8
豊後高田市	97.5	97.5	0.0
杵築市	93.6	92.9	0.7
宇佐市	97.3	97.3	0.0
豊後大野市	96.5	96.3	0.2
由布市	94.9	95.2	▲ 0.3
国東市	97.6	96.9	0.7
姫島村	98.0	97.6	0.4
日出町	95.9	95.2	0.7
九重町	94.2	94.6	▲ 0.4
玖珠町	95.7	95.4	0.3
県計	97.8	97.6	0.2

(参考) 主要税目の徴収率（現年分・滞納繰越分合計）

区分 市町村名	主要税目徴収率	
	住民税	固定資産税
大分市	99.2	99.5
別府市	96.2	95.3
中津市	97.0	96.5
日田市	97.6	96.4
佐伯市	95.9	95.3
臼杵市	95.5	93.8
津久見市	95.7	96.0
竹田市	96.6	95.0
豊後高田市	97.1	97.7
杵築市	95.0	92.1
宇佐市	98.1	96.4
豊後大野市	97.5	95.4
由布市	94.4	94.7
国東市	98.0	97.1
姫島村	100.0	95.4
日出町	96.9	94.5
九重町	95.6	93.7
玖珠町	97.1	93.7
県計	97.9	97.4